

会 議 録

平成 20 年 10 月 20 日調製

審議会等名	平成 20 年度 第 2 回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 20 年 10 月 2 日（木） 午前 10 時～午前 11 時 50 分
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	有
出席者氏名	関委員長 六原副委員長 倉品委員 小林委員 岡田委員 宮島委員 桑原委員 神田委員 名島委員 杉野委員 説明のための職員 金子生涯学習課長 近藤課長補佐 長谷川文化振興係長 図書館指定管理者 太向館長 瀧澤業務責任者 佐藤副責任者
市民憲章唱和	全員で市民憲章を唱和
協議題	(1) 図書館栄分館の整備について (2) 利用状況の報告 (3) その他
生涯学習課長	あいさつ
関委員長	さっそく協議題の 1 番、「栄分館の整備について」に入りたいと思います。下田分館の時と同じように、疑問点やご希望がありましたらお願いします。私は今日の資料を見て、「小さいな」と思いました。223 平方メートルですから 75 坪ぐらい。現在の栄分館の利用状況を見ると、利用者の数がとても少ないですね。前年比 200% ってすごいなと思ったら、3 人が 7 人になっただけで、数字のマジックです。せっかく新しい分館ができるのですからより良いものができて、利用者がどんどん増えてくださればと思っています。ではさっそくご説明をお願いいたします。
生涯学習課長	協議題(1)について、資料 1、別紙 1 により説明
関委員長	ありがとうございました。図書館の運営と図面の両方についていねいなご説明がありました。質疑等がありましたらお願いします。
六原副委員長	私自身、栄地区からこの委員会に出席させてもらっているのですが、3 市町村の合併以前から「栄地区に図書館を」というのは、すごく熱望していたことなんです。それが、合併したとたんに話が立ち消えになって計画に乗らず、すごく残念に思っていたので、こういう形で栄分館ができるのをすごく喜んでます。それまで栄の「図書室」だったものが、合併したことにより「図書館」になって、かなり利用の数が増えてますし、児童書もたくさん増えました。土・日に行くと子どもたちがけっこうお母さんと一緒に来て、じゅうたんのところで絵本を選んでいたり、以前よりたくさんの冊数を借りられるので、たくさん借りていったり。そういうのを見て、すごく嬉しいと思っています。 何度かパブリックコメントを出したんですが、その時の図面と変わったみたいですね。以前は絵本のトンネルみたいなものがあつた気がしますが、それはどこに行った

	<p>んでしょう。それから、おはなし会を毎月していますが、できれば本があるところで行えればそれに越したことはないと常々思っていました。栄分館ですと本当に狭くて、そこで読むことが難しく、人が増えるとできないので、農村環境改善センターのお部屋を借りているんです。そうした読み聞かせをどこでさせていただけるのかな、ということ。</p> <p>あと、一般閲覧席ですが、現在は 18 席あります。職員にお聞きしたところ全部が埋まることはないそうですが、土・日や平日の午後などは利用者がたくさんいて、けっこう埋まることあるそうです。なので、この 6 席というのは 3 分の 1 ですから、サービス低下につながるんじゃないか。もう少し閲覧する場所があった方が、ゆったり読めるかなという気がします。子どもの図書館というわけではないですが、子どもは本を読みながらいずれ大人になっていきますので、「今までは子どもコーナーにいたけれど、今度は大人のところで読む」という人が増えていく、という感じで図書館がつくられると嬉しいなと思います。特に子どもの読書活動の推進と、それを通しての子育て支援機能の充実をうたっているの、図書館の中でそういう流れができると、なおさら嬉しいです。</p>
関委員長	<p>今、配置図について質問がありましたが、ほかにこの図面について質問がある方がいらっしゃいましたらお願いします。</p>
宮島委員	<p>図書館に入るには、自動ドアから入るということですが、本館と同じように土足なんでしょうか。子育て拠点施設の方はどうなんでしょう。</p>
課長補佐	<p>図書館は土足ですが、子育て拠点施設は子どもたちの遊ぶスペースになりますので、脱いで入ります。</p>
生涯学習課長	<p>パブリックコメントをかける前は、この図面の子育て拠点施設の位置が図書館で、真ん中が子育て拠点施設になっていたんです。しかし、動線とサービスセンターへの騒音を考えると、逆の配置の方がいいのではないかという提案がありまして、それで入れ替わった経緯があります。そのため面積もちょっと狭くなり、絵本のトンネルをつくるのが苦しくなったので、絵本コーナーの左側にコーナーに入る矢印がありますが、そこにアーチをつくるという、代替りの措置を考えさせてもらいました。それから、一般席が少なくなったのはおっしゃる通りで、総体の面積の中で 6 席になったんですが、実は今の農村環境改善センターの成人の利用者は、図書を閲覧するよりも、高校生や大学受験生が自分でノート・学習資料を持ち込んできて終日勉強する、という形の方が多いんですね。特に試験勉強の時期になりますとけっこう満杯になりまして、学習室代わりに使われるケースが多いんです。読書活動、図書館の図書利用に使われることが少ないものだから 6 席にさせてもらい、その代わりに、現在の図書館の部屋を学習席として残すことにしております。ですから、自分の学習は現在の図書館のスペースで、という形で分離させてもらいたいと思っております。</p> <p>現在図書館は 7 時で閉まりますが、学習室は 9 時までやっています。図書館が閉まった後学生さんたちには、農村環境改善センターの一室に特別に設けた学習室で勉強してもらっています。ですから、それは農村環境改善センターに残し、一般閲覧席を解消させたいということで、分離させてもらいます。</p> <p>合併前は 10 時までやっていました。職員はいなかったのですが、ノートに記入し</p>

	<p>て自由に貸出をするというやり方で、図書館も改善センターの閉館まで貸出を行っていたという経緯がありました。ところが、貸出よりそこで勉強するという機能が強かったですし、地域の人の要望が強かったので、いったんは7時まででやめていたのですが、9時まで - 青少年が主ですので10時まではどうかということで、閉館後2時間特別に開けているわけです。そういった経緯で、「学習室は農村環境改善センターに残す」という措置でご容赦いただくということで、6席にさせてもらいました。</p> <p>あと、読み聞かせの場所ですが、今後もボランティアの方と話を詰めさせてもらいたいと思っております。例えば、図面では子育て拠点施設の奥の方に会議室等がありますので、そのあたりを利用するなど、施設内で探していきたいと思っております。</p>
六原副委員長	<p>できれば下田の「おはなしの部屋」のような、落ち着いたところがいいですね。その部屋に限らずいろいろなところで読み聞かせをして、子どもたちにいっぱい本の楽しさを受けとめてもらいたいと思っております。</p>
生涯学習課長	<p>中庭も自由に出られる形になりますので、例えば緑陰のところとか。あるいは、自動販売機の脇にラウンジもありまして、いろいろなスペースで使える形になるんですが、こういうところなどを考えさせてもらいたい。今後ボランティアの人たちと、どこがいいか打ち合わせをさせてもらいたいと思っております。</p>
六原副委員長	<p>予算もあると思いますが、もしどこかの部屋を「おはなしの部屋」という形にできるのであれば、落ち着いてじっくりおはなし会ができるような内装もぜひお願いしたいと思っております。あと、トンネルですが、すごくいい案だなと思っておりました。くぐりながら探して行って、「あっ、こんな本見つけた」みたいな、そういう子どもの遊び心をすごく突いているなと思って、印象に残っていたんですね。多分県内でも、そういう子どもの図書館はないんじゃないか。これは目玉になるなと思っていたので、とても残念です。どこかでそういう形でできればなと思っておりました。</p>
文化振興係長	<p>ちょっとシンプルな形になってしまったんですが、課長がご説明いたしましたように、一部にアーチをつくったり、ビジュアル的に少し装飾するような形で、例えば絵本を並べているところを木のようなイメージにしたりとか、絵本の棚のつくり方によって、何とかそういう効果を狙えないかと考えております。ただ、面積がどうしても小さくなってしまったのでとても残念なんですけど、そういう形で何とか工夫をしたいと思っております。またご相談させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。</p>
関委員長	<p>建物に関してもありませんか。私からもお聞きしたいんですが、ひとつは、公民館が今の図書館と入れ替わるんですかね？</p>
生涯学習課長	<p>いえ、先ほど申し上げました通り、図書館は学習室にさせてもらいます。公民館は、今の農村環境改善センターの受付事務の隣の学習室だったところに、10月中旬に移転します。</p>
関委員長	<p>それでは、次の質問をお願いします。図書館は7時までやるということですが、子育て拠点施設の方は何時までですか？</p>
生涯学習課長	<p>5時に終わります。</p>
関委員長	<p>そうですね、7時までとなると、職員がいなければいけませんよね。5時で終わる</p>

	<p>んだったら、そちらへは入れないようにしないと…。カウンターとかお絵描きコーナーにも行けないようにしないと駄目ですね。</p>
生涯学習課長	<p>閉める形になると思います。</p>
関委員長	<p>あと、子育て拠点施設の広々とした空間は、子どもが転げ回る場所ですか？ これだけで図書館の面積に匹敵するので、何かもったいないなと思ひまして。何をする場所ですか？</p>
生涯学習課長	<p>子どもが自由に遊んだり、乳幼児がお母さん・お父さんと一緒に遊ぶ空間です。例えば燕市の「こどもの森」をイメージしてもらおうとわかるんですが、その屋内施設と言ひましようか。</p>
関委員長	<p>そうですね。あんなふうに使えれば…。あともうひとつ、図書館の入口はカウンターのところだけですか？</p>
生涯学習課長	<p>そう考えています。本を子育て拠点施設に持っていく場合は、受付・貸出事務をしなくても自由に持っていける形にさせてもらうんですが、やはり管理上の問題で入口は一つということで、カウンターのところに設けさせてもらひます。</p>
関委員長	<p>老婆心ながら、普段は閉めていてもいいんですが、左側の方にも入口をつくっておいた方がいいのではないかと…地震か何か起きた時のために。図書館は本棚が倒れますのでね。</p>
生涯学習課長	<p>耐震性の問題では、今は倒れないようにボルトで固定してもらひて、柏崎地震の場合も倒壊はしてありません。本は、はみ出たり床に散らばったりしてはいますが、床は固定させますので、地震でも倒壊の心配はないと思われまひます。</p>
関委員長	<p>世の中、思われないことが起きちゃうんでね。最近も大阪の火災で15人死んでいるし、三条の五十嵐川だっってそうでしたが、起きないだろうと思ひていることが起きるので、つくるときにつくっておく方がいいのではないかという気がしまひます。そうじゃないとここしか逃げられないし、しかも子どもが多い図書館になりますからね。</p>
六原副委員長	<p>これは館長にお聞きしたいんですが、現在の栄分館は職員さん1人の配属ですよ。例えば食事の時間など、今は見えるところに居て、利用者が来れば来てくださひますけど、この図面を見まひすと新しい分館は職員さん用の食事をする場所があるのかわからなくて、もし席をはずすと空になってしまひますね。その場合もやはり1人だけの配属なんではなしようか。それとも今後増やしていく方向ではなしようか。</p>
図書館長	<p>私共の方でもそれを検討しておひまして、現在と同じ体制はとれないだろうと思ひておひます。平日は7時までの開館ですから日中の交代が必要になりますので、それを昼時にして1時間ダブらせ、1人がカウンターに出ている間にもう1人が食事をするとか、そういう体制を考える必要があると思ひます。ただ、土・日・祝日は5時までで交代はありませんので、そうした日に席を外す必要ができた場合はどうするかも課題だと思ひておひます。</p>
六原副委員長	<p>面積も2倍になりますし、だから来館者も2倍になるということではなひと思ひまひますが、開館してみたら人が足りなくてサービスが思うようにできない、ということでは困りますので、そのへんはやはりオープン前に…。</p>
図書館長	<p>もうひとつ、子育て拠点施設と連携していくということで、当然これまで以上に、</p>

	<p>お子さんやその親御さんたちを対象としたサービスを行っていく必要があります。その意味でも、どのような人員体制が必要なのか、今後検討していくつもりであります。</p>
六原副委員長	<p>よろしくお願ひします。それともうひとつ、子育て拠点施設と図書館の管理体制が異なっていますよね。そういう形でも連携をスムーズに行っていける体制をつくっていただけるのでしょうか。例えば、おはなし会や本の紹介を拠点施設の方でやったりとか。こちらには書架も絵本のコーナーも全然ありませんので、やはり図書館から持ってきて読む形になるのでしょうか、子どもの周りに絵本があれば、絵本に触る機会が多くなると思うんですね。ですので、こちらに絵本コーナーが全然ないのがちょっと気になりまして。貸出サービスとか、スムーズな連携をつくっていただきたいと思ひます。</p>
生涯学習課長	<p>それは今後、子育て拠点の職員配置が決まったところで、お互いに検討させていただきます。せっかく隣り合わせで相乗効果ということを言われておりますし、今おっしゃったようなことは大事な点だと思いますので、今後の課題にさせていただきますと思ひます。</p>
倉品委員	<p>感想になってしまうんですが、図面を見ますと広いという感じがしますけれど、実際はどうなんですか。この部屋（本館の視聴覚室）よりちょっと広いぐらいですか。</p>
生涯学習課長	<p>ここよりも広いですね。ここは多分 150 平米ぐらいだと思いますが、220 平米です。</p>
倉品委員	<p>素晴らしいなと思ひて聞いていたんですが、やはりこれからの利用は爆発的に増えると思ひますね。私は嵐南に住んでいるんですが、今は車社会ですので、おそらくこちらへ来ることが多くなるんじゃないかなと思ひます。本館は駐車場がどうしても狭いですし、渋滞等もありますから、嵐南地区の方はかなりこちらへ行くことが想定されます。正直、ちょっと狭いなという感じは持ちますし、いろいろな制約があったり、子育てとの共有化ということでぎりぎりなのかな、ということはあるんですけども、来館者が増えるかなというのがひとつ。それからサービス面では、例えば本館にある本をインターネットで予約すれば、こちらで引き渡しができるというような…。</p>
図書館長	<p>そうしたサービスは現在でもいたしております。</p>
倉品委員	<p>やっていますよね。そうしますと、さらに来館者が増えるかなという気がします。と言っても限られたスペースで…飲食スペースをもう少し狭く、というわけにもいきませんしね。今ある施設を有効活用するという設計ですので。ただ、さっき六原さんがおっしゃったように、いったんつくってしまひますと、「次の機会にプラス」という発想も予算ももうないわけですので、ここが正念場だなという気がします。</p>
六原副委員長	<p>「相談室 1」って、要るのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>これは市民の相談室ということで、現在あるのをそのまま残すものです。</p>
関委員長	<p>これは旧栄町の役所としてつくった建物で、職員が全員居た時の構造になっているから、休憩室とかがすごく大きいんですね。この部屋を上手に使えば、たくさんスペースができるんじゃないかと思ひます。</p>
生涯学習課長	<p>先ほど、嵐南地域の方が利用されるんじゃないかというお話がありましたけれど</p>

	<p>も、確かに下田分館が新しく整備されたのを見ていると、大崎の人たちが行ったりしているらしいですね。そういうこともあると思いますし、子育ての方々がここに来られて図書も借りる、というパターンも当然想定されます。</p>
関委員長	<p>議場なんかまだ空いているけど、視聴覚室にしてみたら？ 劇場になりますよね。3階が丸々空いている。</p>
六原副委員長	<p>コンサートホールみたいにしたたり、映写をしたたりというのもいいですね。</p>
関委員長	<p>では、図面についてはいいですかね。運営面でいろいろと工夫できる面もあると思いますので、これからは館長さんの方で、限られたスペースではあるけど上手にやれば…。子育て拠点施設も図書館の付属物だと考えれば、随分利用できるだろうと思います。図書館から本をこっちの方に持って行って読めるんですから、転がって読めれば楽しい。これは運営の妙で、役所と図書館と上手にタイアップしていけばできるんじゃないかと思います。</p> <p>では、図面については終わりにしまして、新館の概要の方はいかがでしょう。図書数とかいろいろありますが、こちらについてはありませんか。現在から比べると蔵書も相当多くなるし、移転後の書棚のスペースもかなり空くところがあって、どんどん本を入れられるなという感じがありますが。</p>
六原副委員長	<p>今後は増やしていく方向なんですか？ がら空きの本棚ではちょっと寂しいです。徐々には増やしていただけたらと思うんですが。</p>
図書館長	<p>年次的に増やしていきたいと思います。</p>
六原副委員長	<p>「こっちの図書館からこっちの図書室に引っ越し」みたいな手軽な形じゃない方向で、ぜひちゃんとした、立派な図書館をつくっていただきたいと思います。栄のためのちゃんとした図書館として、本の購入も含めた体制を整えていただきたいと思います。</p>
関委員長	<p>本館の方の書棚がもう足りなくて、例えば全集ものなどは全部並べられないので、20巻の全集なのに2~3巻しか出していない、というのがいっぱいあるんですよね。そうすると、ほかの巻を見たくても見られないし、コンピューターで調べても中身がよくわからないというのがあるんです。現物をめくってみなければならぬのがたくさんあるので、そのあたりを配置の工夫で…本棚が空いているようなら、そういうものを並べるようにしていけばいいんじゃないかと思っています。書庫の中に埋もれているのがいっぱいあるものだから、書棚が空いているならば、そういうこともやっていけるんじゃないのかなと。これは図書館にお願いなんです。</p>
岡田委員	<p>第1回の協議会は欠席しまして、久しぶりに出させてもらったんですが、とても図書館には期待が大きく、要望も多くて、すごいなと思って聞いていました。でも、スタッフの方が元気でないと、図書館というのは難しいと思いますので、健康に留意されて進めていただければと思います。要望ももちろんいっぱいありますが、私の立場としては、子どもたちのために無理をせず進めていただければと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
関委員長	<p>では、協議題の「2 利用状況の報告」に移ってよろしいですか。だいぶ利用者が増えたというニュースも新聞に出たことがありましたが、4月から8月までの図書館</p>

	の利用状況等について、お話をお願いいたします。
図書館長	協議題(2)について、資料 2-1~5 により説明
関委員長	詳しくお話しいただきましたが、どこからでも結構ですので、質疑等ありましたらお願いします。
六原副委員長	<p>新しく体制が変わって、あちこちの意外なところから、とてもいい話をたくさん聞くんですね。「すごく利用しやすくなったんだってね」とか、「時間も延びたんだよね」とか。うちは娘がスクールアシスタントをしまして、子どもたちを連れて去年も図書館訪問に来たんですが、今年はまた全然雰囲気が変わって、「みんな『こんにちは』っていう感じで、すごく雰囲気が良かったよ」と言われて。見てきた者から聞くと、やっぱり嬉しいなと感じていました。セブンイレブンのお父さんから、「図書館って何時まで開いているんだっけ？」なんて聞かれたりとか、そういうすごくいいこともたくさん聞いて喜んでるんです。</p> <p>で、行事が書いてある資料 No.2-4 ですが、これは全部が書いてあるわけではないと思いますけど、この中にスクールアシスタントの講座が載っていないようですね。例年だと6月ぐらいにやっていたのではないかと思うんです。学校自身もそうなのですが、ボランティアとかスクールアシスタントの人たちを通じて子どもの読書の普及等を推進していくのも、図書館の大事な仕事なのではないかと常々思っています。できれば早めに、新職員さんとアシスタントの人たちを対象にした講座を、10月・11月ぐらいに開いていただければ、というのを強くお願いしたいんですが。</p>
図書館長	資料は8月までの報告ですので載せられておりませんが、実はつい先日実施いたしました。9月24日に1回目、昨日(10月1日)2回目と、2講座開かせていただきました。
六原副委員長	講座にアシスタントの人を出すとか出さないとかは、学校側の判断で決められるんでしょうか。
倉品委員	そうです。
六原副委員長	そうなんですか。より多くの人を受けられるとありがたいなと思うんですが...
図書館長	今回の1回目は図書館をお使いいただく方法とか分類の話、調べ学習などについてなど、初級的な内容でいたしましたし、2回目は長谷川係長様に講師をお願いして、読み聞かせの実践講座をやっていただきました。まだ具体化はしてありませんが、冬場に中級的な講座ができるかどうかを考えておりますし、指定管理者として推進を計画している「図書館を使った調べ学習」についての講演会を、先生方はもちろんアシスタントの皆様にもお集りいただけるようにできれば、講座を兼ねられるかなとも考えております。
六原副委員長	せっかく講座を開くのであれば、参加者を募ったり引っぱってくるのも、やはり必要だと思います。
図書館長	アピールを上手に行いたいと思います。
関委員長	先ほど倉品校長先生が「そうです」と言われましたけど、その日が遠足に当たったりとか学校の事情がいろいろあって、出したくても出せない場合もあるだろうと思います。それと同時に、学校の司書さんたちとか図書館にかかわる方々が、普段から校

	<p>長先生や教頭先生にお願いして、そういうことにぜひ出させてくださいと強くお願いしておくのもやはり大事だと思います。通知を1枚送れば来てくれる、というようにはいかないと思いますので。しかも指定管理者制度になったので、図書館から学校への要望も弱いかもしれないですね。役所同士だと「おい、出ろ」とか、ちょっときつク言うこともできるけど、やはり民間だと「出てくださいますか」という感じになってしまうかと思うので、そのへんはいろいろ難しい面が出るかもしれないですよ。ただ、今言われたように、やはり普通の宣伝がすごく大事なので、「出ないと損をしますよ、校長先生！」というようなことを言ってよく理解してもらわないと、わかってくれない校長先生もいっぱいいますから。</p>
<p>倉品委員</p>	<p>違うことなんですけど、この表のデータを基にお話をいただいたわけで、非常に大事なことだとは思いますが、データはデータですから、これをどう分析して、どんな対応を練っていくかが大事になってくると思います。私ちょっとショックだったのは、4月から8月の貸出冊数が99.9%なんですね。これは大きいと思うんです。来館者は多く、貸出者数も多い。いろいろな分析があると思うんですが、端的に言うと、図書館に来たけども読みたい本がない、というのが一つあると思うんです。そしてまた一つの可能性としては、新刊の本が少ないというのも出てくると思うんです。私も今朝ちょっと見たんですが、去年と比べて少ない感じがあるんです。今、新刊コーナーは棚一つですよ。表紙を出している形で数冊しかなくて、前は何十冊か並んでいたような気がするものですから。このへんの取り組みが...前回も聞いたんですが、選書の方法や予算的なこともあるんでしょうが。あるいは、来館者に「どんな本が読みたいですか」というような聞き取り等もしていると思うんですが、その反映のされ方がどの程度なのか。新刊の選書・購入について、前回の説明に加えることがもしあれば、教えてもらいたいなと思っております。</p>
<p>図書館長</p>	<p>前回の段階では選書・購入という流れがまだコンスタントにいていないというご説明をさせていただきましたが、その後、毎週選書会議と発注を行っていくという点では、スムーズに進んでおります。ただ、新刊そのものも...私もその選書に加わっておりますが、正直雑多な新刊が多くて、「これこそ図書館にあるべき」という、本当に魅力の高い本というのが少ないという思いはあります。ただ、もちろん図書館を利用される方は様々な方がいらっしゃる、いろいろな本を望まれるわけですので、おっしゃる通り、新刊を広く収集するペースが十分でないのかもしれないかもしれません。もっと積極的に発注していきたいと思っております。</p> <p>個々の利用者の方からいただくリクエストには、前回もご説明いたしました通り積極的にお応えしていくようにしております。特に急ぐという方にはほかの図書館からお借りする場合も多く、新規購入に結び付かないケースもありますが、お待ちいただける場合には、内容に特に問題がない限りは、積極的に購入させていただくようにしております。</p> <p>あと、購入ペースのほかに、例えば企画展示と言いますか、毎月テーマを決めコーナーを設けて資料のアピールをしております。背を見せて棚に本が並んでいるだけよりも、表紙をお見せするとお客様が手に取りやすい、興味を引きやすいということがございますので。本屋さんのように平積みというわけにはいきませんが、スペースが</p>

	<p>あるところは表紙を見せしたり、入口近くにももっとそういうアピールするコーナーを増やして、お客様に利用を働きかけられるよう取り組んでいかなければならないと思います。</p> <p>具体的な事例をご紹介しますと、県立県央工業高校さんが甲子園出場を決められた時、高校野球についての資料を入口近くに持ってまいりまして、「出場おめでとう！」という貼紙とともに並べましたところ、翌日には半分以上借りられました。また、新潟にゆかりのある赤塚不二夫さんが亡くなられた時も、関連図書の小特集をいたしましたところ、やはり多くの方にお借りいただきました。そういう、何かテーマを見つけてご紹介をするというのは、即利用に結びつくんですね。ですので、そういう努力をもっともっと行っていかなければいけないと思っております。</p>
<p>関委員長</p>	<p>倉庫委員さん、たまたまタイミングが悪かったんですよ、棚を見た時。ずらっと並んでいる時もあれば、今日はぱらぱらしかないな、と。「三條新聞」がよく書いてくれて、加茂と燕、三条の新刊がけっこう毎月載っているの、「ああ、こういうのを買っているんだな」といつも見えています。</p>
<p>宮島委員</p>	<p>資料2のうち、登録者数についてお聞きしたいんですが、先ほど館長さんのご説明で、「本館などは登録者数がちょっと伸びない、これはどうにかしないと」みたいな感じのおっしゃり方でした。でも、これは新しい登録者の数ですよ。新しい登録者数も大事かと思うんですが、どちらかという、今図書館に登録している人の、市民全体のなかでのパーセントとか…。毎月毎月新しく登録される数よりも、全体としてどれだけの方が利用しているのかの方が、私などは知りたいと思います。子どもさんはどんどん大きくなれるし、赤ちゃんだった子がまた新しくカードをつくるということで、毎年子どもさんの動きみたいなのはあってもいいのかな、と思うんですが…。もちろん、下田のように新しくできたところはずごく気になりますし、とても大事な資料かと思うんですが、あまり細かいところばかり…。「少ないから」という資料の扱いよりも、もう少し全体を、大きくゆったりと見ていただいてもいいんじゃないかなと思います。本館なんかは、登録される方はけっこうされているんじゃないかなと。飽和まではいかないですが、でもまだまだ掘り起こしと言いますが、今まで来なかった方への働きかけはとても大事だと思うんです。</p> <p>もうひとつ、ブックスタートについてお聞きしたいんですが、これは10ヵ月で初めて絵本に出会う、とても大事な良いことだと思うんです。でも残念なのは、こちらはすごく数字を大事にしたいと思うんですが、この配布率88%という数字は、やはりできるだけ100%に近づけてあげたいと思うんです。一番下の「その他」のところ、ブックスタート実施の案内文書を来られなかった方にもお出しすると書いてありますが、この案内文書というのはどういったものなんでしょう。よく役所からの連絡という、封筒に入って事務的に「こうこう、いついつまでにお受け取りください」といった、そういう文書で来るものが多いと思いますが、こちらは内容的には考慮されているのでしょうか。きっと来られないお母さんというのは、図書館から縁遠い方もいらっしゃるのかなと。そういう方にもすごくアピールして、はがきでも何でも手軽に見られて、「これ持っていつてみようかな」と思われるような働きかけがあると嬉しいんじゃないかなと思いました。そのあたりに留意された、かわいらしいものか</p>

	どうか。
図書館長	<p>児童サービスの担当者たちが工夫してつくっております。ちょっと伺ったお話では、もともと図書館をあまりお使いにならなかったことのないお母さん方は、「ブックスタート」とお知らせしてもイメージがわからず、「検診に行くとか何か無理やり本を紹介されるそうだけど、どうしたらいいのでしょうか」というような声を人づてに聞いたことがあります。ですので、いかに敷居を低くして、「なにか楽しそうね」と前向きに出かけてきてくださるようになるか、私共としてもぜひ働きかけをさせていただきたいと思っております。10 ヶ月検診そのものに来られない方もいらっしゃいますので、もうひとつは、そのいらっしゃらなかった方々にどのようにしてお配りしていくか。郵送してしまえば配布率は即 100%になるわけですがけれども、それではアピールにまったくなりませんから。お子さんに本に触れていただく大切さをじかにお伝えしていきたい、という運動でございますので、今のところはちょっとご足労でも、図書館の本館においてくださるようお願いしております。もちろん栄も子育て支援になっていきますので、分館でも今後それができるように、体制を考えていきたいと思っております。そのようにして、検診にいらっしゃらなかった方に対してもできるだけ 100%に近い形でお伝えしていけるように、取り組んでまいります。</p>
名島委員	<p>ブックスタートについて三条市はどういうふうにやっているのか、私はちょっと勉強不足で知らないんですが、配布する時に誰か図書館の人とかが、本を読んであげたりしているんですか。</p>
図書館長	<p>そうです。見本を用意いたしまして - 資料の(3)のところに配布内容とありますが、今年の見本として5種類の絵本があります。そのほか、上のお子さんがいてそれらを既にお持ちの方もいらっしゃいますので、昨年度までの見本も持っていきまして、1冊1冊内容のご紹介をして選んでいただく形を取っております。実際に、赤ちゃんを抱えたお母さんを前にいろいろ本の内容を見せてあげて…。赤ちゃんでも、興味を示したり反応を見せてくださいますので。それでお母さんも、「この本が気に入ったようなのでそれがいいです」とご希望をくださって、差し上げるようにしております。</p>
名島委員	<p>では、本を渡すだけではなくて、職員の人たちが読んであげたりしているわけですね。</p>
文化振興係長	<p>付け加えさせていただきますと、実際に赤ちゃんに絵本を見てもらうと、お母さんは「0歳児なのにちゃんと絵本に反応する」ことにまず驚かれるんですね。それと、大人が赤ちゃんの顔を見て一緒に時間を過ごすことで、「子どもたちはちゃんと感じていますよ」ということをお母さんたちに説明させていただき、実際に本を見ていただきながら、「あ、本当にそうですね」と納得していただけるんです。そうやって「どうぞ」とお渡ししておりますので、そのへんのメッセージを伝えるということがやはりまず第一にあると思うんですね。そのためにちょっと時間をかけて実施をしております。</p> <p>配布しているパンフレットですが、「ブックスタートのご案内」ということで、ブックスタートそのものについての説明をざっと書いてございます。一番下のところに、「10 ヶ月検診の時にさし上げています」ともございます。それが最初のご案内で、2度目以降の場合は、「ブックスタートのご案内」に加えて、「もらったかどうかの確</p>

	認は母子手帳にはんこが押してあります。もし押していないようでしたら文書を持って、図書館までいらしてください」という説明をしてあるんですね。一番最初と2度目と、それぞれお出ししているわけです。
名島委員	これが三条市の封筒に入って送られてくるんですね。...あの封筒で来ると、何だろうと思ってしまいますね。
図書館長	封筒そのものが硬いですか。
神田委員	開けない可能性もあるね。はがきみたいなもので、ぱっと見てわかるほうが。
宮島委員	封筒自体が硬くて、「お役所」というイメージがすごくあるんですね。そこに宛名も印字されてくるわけでしょう？ 敷居を低くするという意味からすると、事務的過ぎるのかな。開けないお母さんがいる可能性もあるし、案内そのものはきれいに書かれて内容もすごくいいんだけど、見てわかっただけといいな...という感じで、もうひと押しあるといいのかな。先ほど言ってくださったように、はがきにキャラクターとかがパッとあって、「あ、そうか！ブックスタートか」「これを持っていくと楽しいことがあるのかしら？」と思ってもらえるような案内があってもいいのかなと。
図書館長	イラストとかが入った、ちょっと明るい感じのはがきなどの方が、すぐに見えていただけでいいということでしょうかね。
宮島委員	あの封筒ですととても大事な案内が入っているというのはわかりますし、検診とかの案内もあややって来るんでしょうけど、封筒だけでもちょっと違うといいのかな。
六原副委員長	開けはするんだけど、見て、細かく文章が書いてあると、「後で」みたいな感じになってしまう時はあると思います。
桑原委員	役所の場合は、大体封筒は開けますよね。万が一自分に関係して不手際が起きてても大変だ、とかがあるから開けますけど、今おっしゃったみたいに、中に入っているのを見ると、「あ、DM だったら要らないわ」とか思いますよね。最近は封筒もみんな広告が入っていますから...
六原副委員長	今日の話は10ヵ月検診の赤ちゃんのお母さんに...ということなんですが、できるならば、今までの管理から民間にせっかく変わったんだから、PRとかCMの方法をもっと斬新な柔らかい発想で、あらゆる年代層にアピールできる、こちらに来てもらえるような方法を提案したり考えたりしていただくといいんじゃないかなと思います。神田委員さんも前回おっしゃっていましたが、下田で高齢者の方の利用がどうしても、「借りて行っていいんだろうか、ここで読んでいいんだろうか」みたいなことがあるというので、そういう方たちにも「図書館ってこんなに楽しいんだよ」みたいなことがわかるように、こちらから高齢者のいる団体とかに出向いて声をかけていただくと、もっといろいろな年代が図書館を利用してくださるようになるんじゃないかなと思います。
図書館長	逆に、例えば先ほどはがきというご意見が出ましたけれども、ぱっと見てこちらからのアピールが伝わるようなかわいらしいはがきをつくれるとすれば、封書で送るよりも送料が安くなりますので、それはお許しいただけるのではないかと思います。図書館にもキャラクターがありますので、それを入れるだけでも、だいぶ雰囲気が変わると思います。

神田委員	<p>六原さんがおっしゃったことに関して、さっきからずっと感じていたんですが、資料 2-1 の下田の欄を見ていただくと、関先生が最初におっしゃった“数字のマジック”で、下田の一般の登録者が 522% になっています。けれども、実際その中身を見ますと、去年の 18 人が 94 人に増えただけ。下田の人口から見ますと、本当に微々たるものなんです。数字だけだとこんなすごい数が出ていますけれども。</p> <p>私も行くときよく観察しているんですが、若いお母さん方と子どもさんばかり。貸出の冊数も見ておりますと、大体子どもさん連れの方が、5 冊、7 冊とたくさん... 絵本の貸出が多いですね。一番関心を持っているのは、こちらの本館に来ますと、中高年の方々が大勢おられます。ところが、下田においてはまったく... 私の年代みたいなのはほとんど来ません。これをどうしたらいいのかと思っているんです。</p> <p>先ほど配られました資料の裏を見ると、カードの作り方から何から、本当にていねいに至れり尽くせりで書いてありますね。でも、下田の方々は図書館というところに何かアレルギーがあるのか、まだ硬いんです。何かいい方法はないか...。皆さん、いい知恵がありましたら教えていただきたいと思います。下田地区においては、確かに大勢入館者が増えていますが、ほとんど若い方がこの数字に表れているだけで、もうちょっと中高年の方々に図書館を利用していただけないかと思っておるんです。何かいい方法はないものですかね。</p>
関委員長	<p>そういう人はほとんど働いているんですか。</p>
神田委員	<p>ええ、働いています。でも、好きな人は本を読みますよ。それから、退職してからも本を買っている人がおられますね。図書館を利用して育った地域じゃないものですから、本は買うものだと思って。それで、本のセールスに来る人は... 私が 30 代、40 代の頃なんかは、三条の本屋さんが回ってこられたんですよ。「こんないい本が出た、こんな全集が出たから月賦でいかがですか?」と。だから、本を借りて読むなんて、みんな考えない。我々はそういう年代に育ったんです。今はこんないい時代になって、あんなにいい図書館をつくってもらったので、そういう人たちをどう切り崩していくかな、とあって悩んでいるんです。</p>
岡田委員	<p>ちょっと思いつきですけど、「僕はこんなふうにご利用していますよ」とか、それぞれの人の利用の仕方を実は知らないんですよ。例えば、委員長さんはほぼ毎週いらっしゃっているというお話だったんですが、どんなふうにご利用しているという実例をどこかで知る場面というのはあるんでしょうか。例えばブックスタートの話でも思ったんですが、ブックスタート経験者が「ブックスタートっていいよ」みたいな、利用者の生の声がそこに載っているとか。あと、中高年の方で... 僕も中高年だと思うんだけど、例えば「こういうことを知りたいから、こういう本を本館で借りました」というようなこととか、どんなふうの本を借りているとか...</p>
関委員長	<p>まとめとして最後にお願ひしようかと思っていたんです。というのは、まずこの本館は、本当に毎日たくさんの方が来ています。それで、何を読んでいるかというのは... これは思想の自由だから駄目だけでも、図書館を利用している方々が、例えば調べものをしていて、小説を読んでいる人が多いとか、あるいは漫画本を読んでいるとか、そういうのを普段観察しておいて、この委員会の時に、「こういう利用の仕方をしている傾向がありますよ」というようなのを教えてほしいなど。年代とか、ど</p>

	<p>んな本を読んでいるか…。インターネットとか、毎日ビデオばかり来て見ている人もいますしね。様々なので、そういう図書館の利用の傾向を見てみたいなど…。あまり細かい数字はいらないので。</p> <p>今日の資料には漢学の里の利用が 2,100%と出ているので、内容を見たら、去年の 1 人に対して 21 人利用があったので 2,100%。これ、最高の数字だなと思いました（笑）。でも、漢学の里に行くと、勉強しに来ている人がいっぱいいるんですよ。貸出は少ないかもしれないけど、目黒館長さんに聞いたら、「高校生がいっぱい来て勉強していますよ」と。それはそれでまたいいと思うんですよ。</p>
神田委員	<p>あそこは高校生が勉強するんですよ、本を借りるんじゃなくて。それから、下田地区では「こもれび」というのをしておりますが、できましたら利用者の方にちょっとインタビューをして、「こんな利用をしに来ています」というのを、やさしい文章でいいので載せてもらえると…。地元の誰々さんが載ったら、下田の人は必ず読むんですよ。集落名と、その何々さんというふうに、差し支えなかったら名前を出させていただいて。年配の方々や中年のお母さんでもいいんですが、そういう人の「図書館を利用して楽しい」とかいうコメントなんかを、小さいコーナーでいいのでたまに載せていただくと、やはり興味を持っていただけるんじゃないかと思います。</p>
生涯学習課長	<p>前に神田委員さんから、公民館だよりの一スペースで図書館の紹介をしたらいいんじゃないか、というご意見をいただいて、今載せさせてもらっております。あと、前々回でしたか、図書館あるいは下田公民館の表示がわかりにくいという指摘もいただきましたので、その表示も設置させてもらったところです。今ほどのご指摘は図書館と検討させてもらいたいと思います。</p>
関委員長	<p>そうですね。本を薦めるというのもありますし、「私のお薦め 1 冊」なんていうのを 200 字ぐらい書いて、そういうのを載せるコーナーをつくってもいいですね。いろいろ注文やお願いがあったりしましたけれども、要は、本を喜んで楽しんでくださる方が 1 人でも増えてほしいという、その立場に立っているのが図書館ですので、またアイデアがありましたら委員会の時でなくても、館長さんに直接お願いしたりすることができると思います。</p> <p>今日は、栄分館が来年新しく設立され出発するということで、楽しいお話がいろいろ出ました。今年ももう 10 月になりましたが、今後もよろしくお願いいたいと思います。本日はありがとうございました。</p>